



## ～読書感想文を書く“ポイント”と“ヒント”～

- ①「よい感想文を読む」 ②「よい本を読む」 ③「読み手に伝えたいことは何か」

### (1) 読書感想文を書く手順 佐賀県上峰町立上峰中学校 吉岡 晃子 先生 より

- 手順1 学校図書館で本を選ぶ  
 手順2 本を読む  
 手順3 項目ごとに分けて書く 次の★をそれぞれ別の原稿用紙に書いてみよう。  
 ★ 初めて知ったこと、意外だったことを書く。  
 ★ 自分の体験と本の内容を結びつけたり、比べたりして書く。  
 ★ その本を読んで気付いた自分の気持ちや気持ちの変化を書く。  
 ★ その本の主題を考えて書く。  
 手順4 文の構成を決める 手順3で書いた原稿用紙を、順番を変えながら並べてみる。書き出しにはどれをもってきてもよいが、「主題」を最初に置くと勢いが出ることが多い。また、最初に「主題」を置くと、最後にもう一度繰り返して強調することもできる。

### (2) 感想文は「心の成長の記録」です！ 兵庫県豊岡市立神美小学校 校長 齋藤 恭子 先生 より

- まず、紙と鉛筆を用意して、本の表紙をじっくり見ましょう。そして、感じたこと、発見したことをメモします。つぎに裏表紙も見ましょう。ここでも何か感じたらメモします。
- それから本を開きましょう。もう一度ゆっくり読み返しながら、心に浮かんだことをどんどん用紙に書きます。「へえ、そうなんだ」「どうして?」「困ったね」「自分ならどうする」
- 書き上げたメモを分類（疑問、感動、発見、想像、反省、期待…）し、書きたいことを中心（この感想文のテーマとなる）を決めます。
- テーマを核にして、文章の構成を考えます。
- 下書きを音読しながら推敲（もっと適切な言葉・表現はないか、文末表現はどうか、接続詞は適切か…）し、前書きと後書きを考えます。
- 募集規定（字数、書き方など）に合わせて点検し、清書します。

### (3) 読書感想文 楽しんで攻略 宮川俊彦氏 朝日新聞 平成24年7月28日「子供の本棚」より

- 感想文に決まりはない。ただ、文章にはいろいろな工夫ができる。ぼくは、30年くらい前から、「な・た・も・だ」を使ってみようと言ってきた。「なぜなら」「たとえば」「もしも」「だから」の順に文章を書いて、最後に自分の意見をはっきりと記す。これは、あくまでも書き始めるためのヒントである。たとえば、
- ・物語の主人公を、自分に置きかえてみる。自分を客観的に捉えると、表現方法が豊かになる。
  - ・感想文に適している本は、繰り返して読み返した本だ。
  - ・読んで面白くなくても、「何だこれ」と疑問が浮かんだ本の方が書きやすいことだってある。
  - ・親は指導ではなく鑑賞者になろう。私はこう思ったと、子どもが分析するのを手伝ってほしい。

### (4) 書き出しや題名の工夫 本校 学校図書館スーパーバイザー 藤田 利江 氏 より

感想文は、本の紹介文ではありません

書き出しを工夫すると読み手を引きつけます。

題名が感動を伝えます。効果的な題名を！！

#### 【書き出し】

- その本を選んだ理由から書く。
- 身近な人の会話から書く。
- 一番心に残ったことから書く。

#### 【題名】

- 一番言いたいことを短くまとめる。
- 心に残った言葉で表す。
- 言いたいことのキーワードを見つける。